

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 エスピー食品株式会社

コード番号 2805 URL <http://www.sbfoods.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小形 博行

問合せ先責任者 (役職名) 管理サポートグループ財経管理室 (氏名) 山崎 崇弘
 経理ユニットユニットマネージャー

TEL 03-3668-0551

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	33,908	4.9	1,795	76.6	1,810	77.7	1,106	31.6
28年3月期第1四半期	32,327	13.7	1,016	△13.6	1,018	△11.4	840	9.0

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 658百万円 (△77.9%) 28年3月期第1四半期 2,975百万円 (161.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	168.24	—
28年3月期第1四半期	124.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	105,321	35,131	33.4
28年3月期	104,799	34,703	33.1

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 35,131百万円 28年3月期 34,703百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	67,000	0.4	2,100	16.2	1,900	△9.3	900	△40.8	136.81
通期	134,500	1.0	4,600	20.4	4,300	1.3	2,350	40.7	357.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	6,977,117 株	28年3月期	6,977,117 株
29年3月期1Q	398,557 株	28年3月期	398,467 株
29年3月期1Q	6,578,615 株	28年3月期1Q	6,773,030 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報及び合理的と判断される前提に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって異なる場合があります。上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景に、緩やかな回復基調で推移したものの、海外経済の減速や為替相場・株式市場の変動による影響が懸念されるなど、先行きについては不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、個人消費の伸び悩みや市場構造の変化による競争激化から、厳しい経営環境が続くなかで、お客様の意識や要望に対する取組みが求められました。

このような状況のなか、当社及び連結子会社は、企業理念・ビジョンのもと、スパイスとハーブを核とした事業活動を推進してまいりました。おいしさの追求はもちろんのこと、高い品質と新たな価値を創出し、暮らしに役立つ製品を生み出すため、お客様視点での研究開発や製品開発を行うとともに、きめ細かな営業活動やスパイスとハーブの魅力をお伝えするための情報発信に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、食料品事業においては、即席グループを中心として主力製品が堅調に推移したこと、また、調理済食品も前期5月の新工場稼働により販売製品が増加したこと、前年同期比15億81百万円増の339億8百万円（前年同期比4.9%増）となりました。利益面におきましては、食料品事業において、売上高の増加に加え、引き続き経費削減や原価低減に努めたこと、また、調理済食品では、前年同期に発生した工場新設に伴う初期費用が無くなりましたことから、営業利益は前年同期比7億78百万円増の17億95百万円（同76.6%増）、経常利益は前年同期比7億92百万円増の18億10百万円（同77.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比2億66百万円増の11億6百万円（同31.6%増）となりました。

セグメント別の業績は、以下の通りであります。

なお、各セグメントの売上高は、セグメント間内部売上高消去後の数値を記載しております。

セグメント及び製品区分別の連結売上高の詳細につきましては、9ページ「4. 補足情報」をご参照ください。

(1) 食料品事業

売上高は、前年同期比5億89百万円増の292億80百万円（同2.1%増）となりました。セグメント利益（営業利益）は前年同期比4億88百万円増の19億86百万円（同32.6%増）となりました。

(2) 調理済食品

売上高は、前年同期比9億91百万円増の46億28百万円（同27.3%増）となりました。セグメント損失（営業損失）は2億1百万円（前年同期はセグメント損失4億92百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比較して5億21百万円増加し、1,053億21百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末と比較して94百万円増加し、701億90百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比較して4億27百万円増加し、351億31百万円となりました。この結果、自己資本比率は33.4%となりました。

なお、それぞれの増減につきまして、特筆すべき事項はありませんでした。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期連結累計期間の業績は、概ね計画通りに推移いたしましたことから、平成28年5月13日に発表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきまして、変更を行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,746	18,262
受取手形及び売掛金	23,425	23,875
商品及び製品	5,541	5,968
仕掛品	1,995	2,040
原材料及び貯蔵品	6,709	6,839
その他	7,105	6,082
貸倒引当金	△2,708	△2,789
流動資産合計	59,815	60,278
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,455	11,321
機械装置及び運搬具(純額)	6,688	6,541
土地	8,563	8,563
その他(純額)	2,937	3,516
有形固定資産合計	29,644	29,942
無形固定資産	559	556
投資その他の資産		
投資有価証券	6,104	5,446
その他	8,997	9,419
貸倒引当金	△321	△321
投資その他の資産合計	14,780	14,543
固定資産合計	44,983	45,042
資産合計	104,799	105,321

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,615	11,241
短期借入金	22,747	23,777
未払法人税等	135	564
賞与引当金	1,080	671
その他	11,422	11,363
流動負債合計	47,000	47,618
固定負債		
長期借入金	13,857	13,290
退職給付に係る負債	6,877	6,903
資産除去債務	180	181
その他	2,178	2,196
固定負債合計	23,095	22,571
負債合計	70,095	70,190
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,744	1,744
資本剰余金	5,337	5,337
利益剰余金	27,144	28,021
自己株式	△1,792	△1,793
株主資本合計	32,433	33,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,660	1,238
土地再評価差額金	894	894
為替換算調整勘定	19	△24
退職給付に係る調整累計額	△305	△287
その他の包括利益累計額合計	2,269	1,821
純資産合計	34,703	35,131
負債純資産合計	104,799	105,321

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	32,327	33,908
売上原価	19,411	20,228
売上総利益	12,915	13,680
販売費及び一般管理費		
販売促進費	7,203	7,119
その他	4,695	4,764
販売費及び一般管理費合計	11,898	11,884
営業利益	1,016	1,795
営業外収益		
受取利息	22	18
受取配当金	71	76
不動産賃貸料	8	9
為替差益	8	—
その他	48	106
営業外収益合計	160	210
営業外費用		
支払利息	143	144
貸倒引当金繰入額	0	0
為替差損	—	42
その他	14	8
営業外費用合計	158	195
経常利益	1,018	1,810
特別利益		
固定資産売却益	636	—
受取補償金	—	6
その他	0	—
特別利益合計	636	6
特別損失		
固定資産売却損	284	0
固定資産除却損	38	58
ゴルフ会員権評価損	4	—
貸倒引当金繰入額	4	81
関係会社整理損	—	39
その他	25	2
特別損失合計	357	180
税金等調整前四半期純利益	1,298	1,636
法人税、住民税及び事業税	59	538
法人税等調整額	398	△9
法人税等合計	457	529
四半期純利益	840	1,106
親会社株主に帰属する四半期純利益	840	1,106

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	840	1,106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	594	△422
土地再評価差額金	1,524	—
為替換算調整勘定	8	△44
退職給付に係る調整額	8	18
持分法適用会社に対する持分相当額	0	△0
その他の包括利益合計	2,134	△448
四半期包括利益	2,975	658
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,975	658
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,690	3,636	32,327	—	32,327
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,690	3,636	32,327	—	32,327
セグメント利益又は 損失(△)	1,497	△492	1,005	11	1,016

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額11百万円は、セグメント間取引消去11百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する情報

第1四半期連結会計期間より、「その他」と表示しておりました「調理済食品」について、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	食料品事業	調理済食品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	29,280	4,628	33,908	—	33,908
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	29,280	4,628	33,908	—	33,908
セグメント利益又は 損失(△)	1,986	△201	1,784	11	1,795

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額11百万円は、セグメント間取引消去11百万円であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

4. 補足情報

セグメント及び製品区分別連結売上高

当第1四半期連結累計期間におけるセグメント及び製品区分別の連結売上高は以下の通りであります。

(単位：百万円)

セグメント及び製品区分	前第1四半期 (累計)	当第1四半期 (累計)	増減額	増減の主な要因
食料品事業	28,690	29,280	589	
スパイス&ハーブ	5,727	5,960	233	業務用香辛料、シーズニングスパイス (増加)
即席	8,006	8,658	652	即席カレー (増加)
香辛調味料	7,700	8,005	304	チューブ製品、中華製品 (増加)
インスタント食品その他	7,256	6,655	△600	米飯 (減少)
調理済食品	3,636	4,628	991	前期5月より新工場稼働 (増加)
計	32,327	33,908	1,581	